

第3学年 国 語

1 学習の進め方

- (1) 毎時間の最初に漢字スキルを使って漢字の学習に取り組みます。
- (2) 教科書に準拠して授業を進めます。
- (3) 話をしっかり聴いて、工夫しながらノートをとりましょう。
- (4) わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (5) 相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (6) 硬筆書写教材やプリントなどを使って言語に関わる力を養いましょう。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。
…教科書、ノート（B5）、あかねこ漢字スキル、国語活用資料集、プリントファイル
書写では鉛筆、習字道具など
- (2) 字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身に付けましょう。
- (3) 提出物は期限を守りましょう。
- (4) 自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5) 発言は大きな声ではっきりとクラスみんなに伝えましょう。
- (6) 教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 日頃から読書や新聞等を通して活字に親しむ習慣をつけましょう。
- (2) 漢字の知識や文法についてはしっかり復習して知識の定着を図りましょう。
- (3) 計画的に教科書ワークを使って、復習に努めましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、ノート、授業プリントをしっかりと読み直したり、見返したりしましょう。
- (2) 教科書ワークを使って、十分に理解ができているかを確認しましょう。
- (3) 漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (4) わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるようにしましょう。
- (5) 本文を繰り返し声に出して読み、理解を深めましょう。
- (6) 漢字、文法、言語に関わる内容は繰り返し復習に努めましょう。

5 3年生での学習内容…授業時間は、週3時間 年間105時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	1 深まる学びへ	10月	5 自らの考えを
5月	2 視野を広げて	11月	6 いにしへの心を受け継ぐ
6月	情報社会を生きる 3 言葉とともに	12月	読書に親しむ
7月	読書生活を豊かに	1月	7 価値を生み出す
8月		2月	8 未来へ向かって
9月	4 状況の中で	3月	8 未来へ向かって

※上記以外に書写の授業があります。

6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 知識・技能

・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。

(定期テスト、漢字復習テスト、書写等)

観点2 思考・判断・表現

A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。

(発表、スピーチ、ディスカッション、朗読、聞き取りテスト等)

B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。

(定期テスト、授業プリント、授業の発展課題、課題作文等)

C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。

(定期テスト、授業プリント等)

観点3…主体的に学習に取り組む態度

・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。

(定期テスト、テスト反省の自己評価、提出物の提出状況・内容等)

7 備考(注意事項・アドバイスなど)

第3学年 社会科

1 学習の進め方

- (1) 1学期中に歴史的分野の学習を完了し(週3時間)、同時に公民的分野(週1時間)を進める。2学期以降は集中的に公民的分野に取り組む。
- (2) 教科書に準拠して授業を展開する。
- (3) 単元によってグループで話し合いや意見を交換する時間を設ける。
- (4) 状況に応じて小テストや宿題を実施する。

2 学習(授業)上の注意点

- (1) 授業では各自でプリントを順番通りに貼るものを準備する。地理・歴史・公民それぞれ分けておくことが望ましい。
- (2) ノート(プリント)へは板書及び、説明中に必要と思われることをメモしましょう。
- (3) 話し合い活動には積極的に参加しましょう。
- (4) **社会的な見方・考え方を活かそう。** 地理的分野では、地域的・空間的な広がりや傾向をつかむ。歴史的分野では、時系列に沿った因果関係などを中心に取り扱おう。それらの視点を総合的に組み合わせることが、特に論術問題の表現に必要となります。

3 家庭学習の進め方

- (1) 復習は教科書や授業プリントを用いて授業内容の振り返りを行い、ワークなどで要点を確認しておきましょう。
- (2) 予習は教科書を読み、文章の概略を掴むこと、及び一問一答を先行する。
- (3) テレビや新聞、インターネットなどでニュースを見て、世の中の動きに興味をもちましょう。
- (4) 定期テスト対策と同時に、1・2年生の既習内容の復習を進めておきましょう。その際、配布した「3年間の整理と復習」を用いてもかまいません。なお、そのワークの公民的分野の内容は、予習・復習用として各自で活用してください。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 日頃の家庭学習で、内容の振り返りやワークを進めておこう。
- (2) 出来るだけ早めに、重要語句の暗記やノート整理を進めておきましょう。その際に、語句を暗記するだけでなく、他の語句との関連や時代の流れ等を意識しましょう。
- (3) 学習が不足している単元や分野・内容に取り組みましょう。
- (4) 定期テスト前日は、全体を流し読みし、自分の学習に穴が無いかを最終確認しましょう。
- (5) 記述問題については、重要語句の説明や、単元のまとめ、教科書本文の確認、ワークの記述問題の取り組み等を行いましょう。

要注意！！ 提出物を完成させて、学習を終わらせることが無いようにしましょう。提出物の完成は、テスト勉強のスタートラインです。

5 3年生での学習内容（授業時間は、週4時間、年間140時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	歴史 日露戦争～第一次世界大戦 公民 現代社会	10月	公民 国会・内閣・裁判所 日本国憲法
5月	歴史 世界恐慌～第二次世界大戦 公民 生活と文化	11月	公民 地方自治 市場経済
6月	歴史 戦後～高度経済成長 公民 現代社会を捉える枠組み	12月	公民 消費者経済、企業活動
7月	歴史 これからの日本と世界 公民 日本国憲法	1月	公民 これからの日本経済 財政
8月	夏休み	2月	公民 国際社会
9月	公民 2章 民主政治 日本国憲法	3月	問題演習、3年間のまとめ

7 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

＜観点別評価と評価材料＞

観点1 【社会的事象への知識・技能】

平素から各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現している。

（評価材料）定期考査、小テスト、単元ごとのまとめ、
その他状況に応じて課される提出課題など

観点2 【社会的な思考・判断・表現】

社会的事象から課題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多角的・多面的に考察し社会の変化を踏まえ公平に判断する。自分の考えや意見を、社会的な見方を活かした視点で論じたり、表現したりすることができる。

（評価材料）定期考査、小テスト、単元ごとのまとめ、
その他状況に応じて課される提出課題など

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとしている。学習の見通しをたて、効果的に学習を進めようとしている。

（評価材料）定期考査の一部、授業態度（グループでの話し合い活動に積極的に参加しているかなど）、ワーク等の提出物、その他状況に応じて課される課題レポートなど

第3学年 理 科

1 学習の進め方

理科 A 【单元1】化学分野 【单元3】物理分野 実験を中心とした授業

理科 B 【单元2】生物分野 【单元4】地学分野 調べ学習や観察を中心とした授業

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 毎回の授業で、教科書、理科便覧、ノートを持ってきてください。ワークは、指定したときに持ってきましょう。
- (2) 授業で配られるプリントは、基本的に「すべてノートに貼る」か「ファイルにととじる」こととなります。貼り方など、授業での指示をよく聞きましょう。
- (3) 実験や観察では安全が第一です。事故は自分だけでなく、周りの人にも危険が及びます。薬品や実験器具・装置の使い方や注意点をしっかり聞き、十分に理解した上で、作業を行いましょう。
- (4) 実験台の上を整理し、集中して作業を行って下さい。片付けは協力して行いましょう。
- (5) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をして理解を深めていきましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、新しい発見をし、それを科学的に考えていく過程が大事です。したがって、教科書の予習をする必要はありません。
- (2) その分、授業の復習が大事です。ノートの開いたところには、**自主学习**とかいて、教科書・ノート、プリントをよく読み返し、その授業に関係するまとめや、調べたことをかきましょう。また、ワークで問題を解く練習などをしまししょう。
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (4) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行いましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、理科便覧、ノート（プリント含む）をよく見直しまししょう。
- (2) 実験・観察の手順や、注意点、なぜそのような操作を行うか、何がわかるのか等をよく理解し、ノートにまとめまししょう。
- (3) ワークは「完全学習ノート」に（これを提出します）、①自分で解く（鉛筆）、②調べて解く、確認する（青）、③丸付け、間違い直しをする（赤）のように、段階を踏んで取り組み、空白部分には計算方法や解説などをかきましょう。
- (4) 重要な用語は、覚えるだけでなく、説明できるようにすることで理解が深まります。
- (5) 計算や作図、グラフの問題は、繰り返し何度も行うことが大切です。

5 3年生での学習内容 (授業時間は、週4時間 年間140時間※)

月	学 習 内 容		月	学 習 内 容	
	理科 A	理科 B		理科 A	理科 B
4月	単元1 化学変化とイ オン	単元2 生命の連続性	10月	単元3 運動とエネル ギー	単元4 地球と宇宙
5月			11月		
6月			12月		
7月			1月	単元5 地球と私たちの未来の ために	
8月	夏休みのため 授業なし		2月	単元1, 3 と、1, 2年 生の復習	単元2, 4 と、1, 2年 生の復習
9月	単元3 運動 とエネルギー	単元4 地球と宇宙	3月		

※理科 A 76 時間、理科 B 64 時間の割合の予定です。

6 評価・評定について

評価とは、理科で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この4観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

- ・科学的に探求する能力の基礎と態度を育む。(小テスト、定期テスト)
- ・目的意識をもって観察、実験などを行い、データを整理してグラフなどにまとめる力を育む。(実験での取り組み、実験プリント、小テスト、定期テスト、実験装置の取扱いテスト)

観点2 【思考・判断・表現】

- ・科学的な見方を養うとともに、科学的に考える力を育む。(実験プリント、レポート、ノート、定期テスト、小テスト)

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・自然の事物・現象に進んでかかわり、自ら課題に対して粘り強く取り組み、主体的に学習に取り組む。(授業での取り組み、提出物、ノート、復習問題のテスト)

第3学年 数 学

数学の授業は、週4時間です。年間を通して少人数の授業を行います。

1 学習の進め方

1時間の中にできるだけ多くの問題を扱うようにする。

- (1) 講 義・・・教科書の内容を整理し、問題を解きながら理解する。
途中の過程を確実に書くようにする。
- (2) 問題 演習・・・教科書の問や黒板に書いた問題を解く。
- (3) ワーク学習・・・授業の進み具合に応じて、進める。
- (4) 宿 題・・・ワークは授業の進み具合に応じて宿題とする。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) ノートを取る。考えるところはしっかりと考えることが大切。
- (2) 解らないことはそのままにせず、解るまで質問する。
- (3) 途中式を必ず書く。
- (4) 間違いを直すときは、その理由を大切に。必ずやり直す。

3 家庭学習の進め方

- (1) ワークは授業の進度に合わせて進める。授業の進み具合に応じて宿題とする。
毎日の復習として取り組む。
- (2) ワークなどの課題は丁寧に取り組む。間違えたときは、もう一度取り組み、間違いを見つけ、直す。解らないときは答えを見て考えてよい。答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を書く。

※ワークの進め方※

- ① 自分で解く。答え合わせをする。
- ② 間違えた問題は、どこを間違えたか確認する。
- ③ 解らないときは解答を見ながら考える。
- ④ 解らない問題は先生に聞く。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 試験範囲の問題をやり直す。
- (2) ノートで語句の意味やポイントを確認する。
- (3) 時間があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジする。

5 3年生での学習内容 (授業時間は、週4時間 年間140時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	第1章 多項式	10月	第5章 相似な図形
5月	第1章 多項式 第2章 平方根	11月	第6章 円 第7章 三平方の定理
6月	第2章 平方根	12月	第8章 標本調査
7月	第3章 2次方程式	1月	3年間のまとめ 演習問題
8月	夏休みのため 授業なし	2月	3年間のまとめ 演習問題
9月	第3章 2次方程式 第4章 関数 $y = ax^2$	3月	3年間のまとめ 演習問題

6 評価・評定について

(1) 観点別評価は、下記の項目・割合で算出し達成度によりABCで評価します。

観 点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
内 容	計算やグラフを書くなど、 数学的に処理することができるか。	先を読む力、根拠を説明する 力など身に着けているか。	数学的活動の楽しさや数学の 良さを実感し、活用としているか。
評 価 材 料	☆定期考査 ☆小テスト等	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆レポート	☆授業への取り組み ☆ノートの記入 ☆ワーク ☆宿題 ☆提出物 ☆テスト振り返り ☆再小テスト

(2) 評価は観点を算出し、達成値により評定を算出します。

7 その他

(1)長期休業中等に状況の応じて補充教室を行います。

第3学年 美術

1 担当教員

田 和

2 学習の進め方

- (1) 基本的技法を身に付けます。
- (2) 参考作品や資料を基にアイデアを練っていきます。
- (3) 制作の順序を考え見通しを持ち作業を進めます。
- (4) 材料や用具を生かし、意図に応じて工夫して表します。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重します。

3 学習（授業）上の注意点

- (1) 表現することを楽しんで活動しましょう。
- (2) 表現したいイメージや主題を明確にしましょう。
- (3) 授業準備をしておきましょう。（材料、資料やアイデアに関するものを含む）
- (4) 授業時間の中で制作の時間配分を工夫してすすめましょう。

4 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集めましょう。
- (2) 学習内容に関連したものに関心を持ちましょう。
- (3) 情報を発想や構想に生かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねましょう。
- (4)

5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業課題に関連した教科書、資料集、プリント内容の確認。
- (2) 基礎知識を実技に活用できるようにしましょう。
- (3) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に関心を持ちましょう。
- (4) 授業の振り返りをしましょう。

6 3年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	見つめ感じ取り描く：花のスケッチ スクラッチ彩色	10月	平面構成「心の不思議空間」 アイディアスケッチ
5月	スクラッチ仕上げ	11月	「心の不思議空間」制作
6月	鑑賞：奈良京都の文化財 海を越えた文化交流	12月	「心の不思議空間」制作
7月	鑑賞：エッシャー「滝」 多様性：色覚の多様性	1月	堆朱のキーホルダー デザイン
8月	夏休みのため 授業なし	2月	堆朱のキーホルダー制作
9月	鑑賞：レオナルドとその時代 透視図法	3月	メッセージを伝える絵手紙 鑑賞

7 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい5つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1

- ・ 期末テスト
- ・ 実技テスト
- ・ 作品

観点2

- ・ 期末テスト
- ・ ワークシート
- ・ アイディアスケッチ
- ・ 作品解説カード

観点3

- ・ 期末テスト
- ・ 作品制作過程、提出
- ・ 授業への取り組み（授業カード）
- ・ まとめワークシート

8 備考（注意事項・アドバイスなど）

第3学年 音楽

1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) 発声練習、校歌
- (3) 合唱練習（パート、全体）
- (4) プリント学習
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (2) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (3) 楽譜にしっかりメモをしましょう。
- (4) プリントの内容やわからないことをそのままにしないようにしましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 宿題や提出物は期日を守って取り組みましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的に授業で話したことを出題するため、授業内容をしっかり聞きましょう。
- (2) プリントにしっかり目を通しましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

5 3年生での学習内容 (授業時間 週1時間 年間35時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	歌唱：校歌	10月	歌唱：校歌 各クラスの自由曲 鑑賞：民族音楽
5月	歌唱：花	11月	歌唱：実技テスト（各クラスの自由曲） 器楽：三味線 鑑賞：民族音楽
6月	歌唱：花 鑑賞：ブルタバ（モルダウ）	12月	器楽：三味線 創作：旋律創作
7月	歌唱：実技テスト（花） 各クラスの自由曲	1月	歌唱：校歌、卒業式歌 鑑賞：ポピュラー音楽
8月	夏休みのため 授業なし	2月	歌唱：校歌、卒業式歌 鑑賞：ポピュラー音楽
9月	歌唱：校歌 各クラスの自由曲	3月	歌唱：校歌、卒業式歌

6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（発声、歌詞の発音の仕方、身体の使い方、声の響きなど）

観点2 【思考・判断・表現】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（強弱や表情などの表現、曲にふさわしい音楽表現）

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

授業への取り組み（発言、ワークシート、練習態度、実技テストの取り組みなど）

提出物（ワークシート、振り返りカード）

第3学年 保健体育

1 学習の進め方

- (1) 四中ストレッチを行います。
- (2) 準備運動の後に主運動を行います。
- (3) 必要に応じて学習カードを活用します。
- (4) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (3) 教師の話をよく聴き、自ら考え、主体的に取り組みましょう。
- (4) わからないことはそのままにせず、聴くなどして解決しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 自分に合った運動に取り組みましょう。わからないときは聴きましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業で学んだことを振り返りましょう。
- (2) 「図解中学体育」を活用しましょう。
- (3) 「新中学保健体育」を活用しましょう。
- (4) わからない時は積極的に聴きましょう。

5 3年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技 体づくり運動	10月	バスケットボール 保健
5月	陸上競技 体づくり運動	11月	長距離走、バドミントン 体育理論
6月	バレーボール 保健	12月	長距離走 バドミントン、ダンス
7月	水泳	1月	バドミントン ダンス
8月	夏休みのため 授業なし	2月	サッカー 保健
9月	水泳 ソフトボール	3月	サッカー

6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

（評価材料）*技能テスト *授業中の技能 *定期考査 *学習カード

観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

（評価材料）*学習カード *授業中の表現 *定期考査

観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

（評価材料）*授業の取り組み *学習カード

第3学年 技 術

1 学習の進め方

- (1) 授業レポート記入・前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 授業レポート記入・本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は、木工室、金工室を中心に使用します。
- ・ 授業開始前に、正確に実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 作業の終わりには、片付けを行い、次の人が気持ちよく使用できるように、マナーを心がけましょう。その後、本日の進捗等を確認します。次の授業時、作業がスムーズに行えるよう、必要事項を記入しましょう。
- ・ 授業レポートは各自で保管します。ファイルは毎授業時に持参してください。

3 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ず各自のファイルを持参してください。
- ・ 次回の授業がスムーズに行えるように、授業レポートと進捗状況を確認しておきましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 授業で学習した内容をレポートを中心に勉強します。

5 3年生での学習内容（授業時間は、隔週1時間 年間17.5時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	【 D情報の技術 】 デジタル作品の設計・製作	10月	【 D情報の技術 】 デジタル作品の設計・製作
5月	【 D情報の技術 】 デジタル作品の設計・製作	11月	【 D情報の技術 】 デジタル作品の設計・製作
6月	【 D情報の技術 】 デジタル作品の設計・製作	12月	【 D情報の技術 】 プログラムによる計測・制御
7月	【 D情報の技術 】 デジタル作品の設計・製作	1月	【 D情報の技術 】 プログラムによる計測・制御
8月	夏休みのため 授業なし	2月	【 D情報の技術 】 プログラムによる計測・制御
9月	【 D情報の技術 】 デジタル作品の設計・製作	3月	【 D情報の技術 】 プログラムによる計測・制御

6 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点を総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

- * 期末考査 * 学年末考査
- * 作品の出来具合及び完成までの取り組み姿勢

観点2 【思考・判断・表現】

- * 期末考査 * 学年末考査
- * 作品の出来具合及び完成までの取り組み姿勢

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- * 期末考査 * 学年末考査
- * 作品の出来具合及び完成までの取り組み姿勢

7 備 考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

第三学年 技術家庭科（家庭分野）

1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は、教室、被服室を使用します。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書したり、先生の話聞いてメモをします。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。
- ・実技実習では、裁縫道具が必要になります。

2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や教室移動を行う。
- ・実技実習では、安全を第一に集中して取り組む。
- ・裁縫の実技があるので、玉どめ、玉結びができるように復習しておく。

3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・授業プリントを参考に、教科書を復習する。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業プリントを中心に、教科書を復習する。

5 3年生での学習内容

（授業時間は各週1時間 年間技術分野とあわせて35時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	幼児の生活と家族	1月	家族・家庭や地域との関わり
	① 幼い頃を振り返ろう	2月	① 家庭や家族の機能について考えよう
5月	② 幼児の体の発達について	3月	② 中学生としての自立を考えよう
	③ 幼児の心の発達について		③ 家庭生活と地域との関りを考えよう
6月	④ 幼児の生活習慣の習得について		学習のまとめ
	⑤ 幼児の生活と遊びを知ろう		
7月			
9月	フェルトを使ったマスコット製作		
10月			
11月			
12月	これからの私と家族		
	① 中学生にとっての家族について考えよう		

6 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

- * 定期考査、縫い方の実技検査、プリント、その他状況に応じて課される提出課題。
- * マスコット製作における取り組み姿勢や完成品。

観点2 【思考・判断・表現】

- * 定期考査、プリント、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- * 授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。
- * 授業プリント、その他状況に応じて課される提出課題。

第3学年 外国語（英語）

1 担当教員

藤川 洋（週3時間）

Lesson内の新出文法、GET Part、USE Readの教科書本文、Speaking Testや発表活動を授業で扱います。

竹腰 佑妃（週1時間）

Listen、Talk、GET Plus、Reading for Information READING FOR FUNを授業で扱います。

2 学習の進め方

- (1) 授業のスタートは「帯学習（60秒単語チェック、単語英語の歌、じゃれマガ、読みトレ100など、毎回短時間くり返し行う学習）」を行います。
- (2) 昨年度と同じく、先生たちも授業中はたくさん英語を使います。
- (3) 授業は教科書、ワークシート、ワークを使用して、たくさんの活動（トレーニング）を行っていきます。
- (4) 今年度も「話す」「聞く」「書く」「読む」活動をやっていきますが、今年度は特に「読む活動（速読）」に力を入れていきます。

3 学習（授業）上の注意点

- (1) 間違いを恐れず、積極的に活動に取り組みましょう。
- (2) 間違いを恐れず、大きな声で、はっきりと発言しましょう。
※授業は失敗する場所です。失敗することで必ず成長できます。
- (3) 英語は「実技教科」です。授業では、勉強（トレーニング）方法を伝えます。
家に帰ってから自分でトレーニングができるように、授業中は活動に集中しましょう。
- (4) 忘れ物をしないように、気をつけましょう。
持ち物：教科書、ノート（各自準備）、ファイル、辞書、めきめき English、読みトレ100、Chrome Book

4 家庭学習の進め方 ※皆さんの力を一番伸ばせるのが「家庭での繰り返し学習」です。

1年生の3学期に伝えたトレーニングをたくさん行いましょう。

- (1) 3年生では1、2年生の時に比べて、授業中に音読をする回数が少なくなります。
しかし、音読はとても大切です。リスニング力を鍛えるために、家庭学習での音読は短時間（3～5分）でいいので、毎日続けましょう。
- (2) EWNについては、1学期中は続けていきます。自分のレベルに合わせて、英文を選び、「音読→暗唱→暗写」を続けていきましょう。英作文については4月からはGoogle Classroomに提出してもらいます。
- (3) 「3年間の総整理問題集」でこれまで学習した文法の復習をしていきます。自分のレベルに合わせて、何度も繰り返し取り組みましょう。（最初からテキストに答えを書き込むと繰り返しの練習ができませんので、最初は別のノートに取り組みましょう。）

- (4) 英文を読んで内容を理解できるようになるためには、知っている「語い（単語・熟語）」を増やすことが必要です。単語を覚えるトレーニングも行っていきましょう。その際は「単語を書く」のではなく、「日本語を見て英単語言う」「英単語を見て日本語言う」という「言う」トレーニングで何度も繰り返しましょう。単語集を使う場合は、付属の音声 CD やデータが付いているものを選びましょう。

5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書本文（全て覚える必要はありません）、ワーク、授業中に配布するワークシートを音読して、内容を理解できるようにしましょう。
- (2) 音読&暗唱した英文をライティングノートに書く。※何も見ないで書けるようになるまで繰り返す。
- (3) 今回のテストから、初見英文をこれまで以上に出題する予定です。

6 3年生での学習内容とテスト（予定）（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	Starter, Lesson1、 Listen1、Talk1	10月	創作スキット「インタビュー」発表 Lesson6、Listen6、Talk6、GET Plus2
5月	中間テスト、 Lesson2、 Listen2、Talk2 Project 1 創作スキット「買い物」発表	11月	期末テスト Lesson7、Get Plus3、T Speaking Test2 Topic Chat※2分間
6月	Lesson3、Listen3、Talk3、GETPlus1 Speaking Test1 日本文化紹介 ※1分間 期末テスト	12月	Project3「ディスカッションをしよう」 Reading For Fun2、Reading For Fun3
7月	Lesson4、Listen4、Talk4 READING FOR FUN1 ※Topic が去年よりレベルアップします。	1月	3年間の復習 After 20 years 原稿作成
8月	夏休みのため 授業なし	2月	After 20 years レポート提出 学年末テスト
9月	Lesson5、Listen5、Talk5、 Project2 中間テスト	3月	

7 評価・評定について

評価とは、英語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 <知識・技能>

定期テスト、Speaking Test、教科書マスターテスト、
フォニックス王ランキングや語い王ランキングなどの活動、Listening 活動
発表活動

観点2 <思考・判断・表現>

定期テスト、Speaking Test、発表活動、授業中に行う Listening 活動・Writing 活動
Speaking 活動・Reading 活動、レポート、PD ノート(Picture Describing ノート)

観点3 <主体的に学習に取り組む態度>

定期テスト、Speaking Test、発表活動、授業中に行う Listening 活動・Writing 活動
Speaking 活動・Reading 活動、レポート、提出物

8 備考(注意事項)

提出物については、提出期日を守り、遅れずに提出してください。欠席・出席停止中など提出日に事情がある場合は、登校した初日提出してください。また、提出日に提出できない理由がある場合は、必ず先生に申し出て、指示を受けてください。